

鎌田さんを偲んで！

昨年11月に鎌田さんが亡くなりました。我が立教舞研に多大な貢献をして下さった功労者だという事はOB・OG諸君も同意して貰えると思います。そこで鎌田さんと舞研とのルーツについてここで述べたいと思います。

昭和40年、私が4年生の時です、私は永吉教室の斉野先生のレッスンを受けていたのですが、同じ斉野先生のレッスンを受けに毎日夕方5時に必ず現れる男性がいました。それが鎌田さんでした。私も毎日永吉教室に通ってましたから、同じ先生という事もあり自然と親しくなりました。そして色々話を聞いてみると山形でダンス教室を始める為に単身東京までレッスンに来ていると分かりました。昼間は知人の会社で働き夜はレッスンの毎日でした。その後3か月余りのレッスンを終えて住まいのある上山に念願の教室を開いたのです。

翌昭和41年の春に鎌田さんが斉野先生のレッスンを受けに永吉教室に来られたので久しぶりに会いました。私は部活に熱中のあまり単位不足で留年してましたので、会話のなかで「夏の合宿の場所が決まらなくてね〜。」と話す。「じゃ山形でやってよ。」と言われたのです。「え〜、山形。遠いなあ〜。」という。「練習会場も泊まる所も手配するから是非来てよう〜。」「うちの生徒達に東京六大学の選手の踊りを見せたいから。」と熱心に誘われたので決意し、後輩に勧めました。(命令だったかもしれません。)

かくして第1回目の山形合宿が宿泊所は長谷旅館、練習場とトレーニング場は近くの中学校(小学校?)の体育館とグラウンドでスタートしました。地元で歓迎されて長谷旅館は特別サービスしてくれたり近所の人から差し入れを貰ったりして楽しい合宿生活でした。この山形合宿がその後40年間も続くとは当時全く考えもしませんでした。これだけ長期に渡り続いたという事は歴代の現役諸君が山形合宿に満足していたからに違いありません。その要因の中には鎌田さんの立教舞研への深い心遣い、思いやりがあったのだと思います。

近年、部員が増えた為に山形合宿が中止になったと聞きました。立教OBでもなく、立教関係者でもない鎌田さんが初心を忘れずに長きに渡り山形合宿を支えてくれた事に感謝すると共に心からご冥福をお祈りいたします。

昭和41年卒 赤野 庫太郎